

●みんなで参加しよう「岐阜県統計グラフコンクール」

情報収集の移り変わりとAI

情報収集用メディアの変化とインターネット利用

情報収集メディアの移り変わり

年齢階層別インターネット利用率

10代の利用時刻別行為割合推移

インターネットネイティブ

- 情報メディアがwebに集まっている
- インターネットネイティブが多数に広がっている
- 期つづにネットを利用する輩が高くなる(若くは中高生や夜中に利用してる(夜))
- 最近ではAIが記事を書いているらしいよ
- ECサイトに売れている商品の分析しているらしい

最近話題のAIは今後どのように発展し社会にどのような影響を与えるのだろうか？

身の回りに使われるAIの発展

IOT・AI等の導入で効果があった企業	AIの方が多くの情報を持っていると答える割合	ポロップと早期がんの発見率	ChatGPT(AI)ユーザー数
79.8%	45.0%	98.0%	100億以上

AIによる情報は信憑性が高いのか？

AIの発展による影響

AIによる読書感想文

「読書感想文の量は、学校側から希望して、児童が読書する少少のうちにAIが作る感想文で置き換わって、最終的にはAIの作成した感想文がほとんどになるのでは」と懸念を述べ、AIの発展による読書感想文の質の低下や、読書習慣の喪失を懸念している。また、AIが読書感想文を生成する際には、読書した本の内容を正確に読み取ることが必要であり、AIが読書した本の内容を正確に読み取ることが必要であり、AIが読書した本の内容を正確に読み取ることが必要である。AIによる読書感想文の生成は、読書習慣の喪失や、読書習慣の喪失を懸念している。また、AIが読書感想文を生成する際には、読書した本の内容を正確に読み取ることが必要であり、AIが読書した本の内容を正確に読み取ることが必要である。AIによる読書感想文の生成は、読書習慣の喪失や、読書習慣の喪失を懸念している。また、AIが読書感想文を生成する際には、読書した本の内容を正確に読み取ることが必要であり、AIが読書した本の内容を正確に読み取ることが必要である。

AIに頼ると心の表現力が衰えないか？

情報収集においてAIは革新的な道具だが他のメディアと同じく難否みにしない事が大事
情報収集の手段が変化しても、情報の質と正確性を確保することが重要な課題だ

毎年、岐阜県では身の回りの出来事や社会の動きなどを、統計グラフで表現した作品を募集し、コンクールを実施しています。

優秀な作品は、統計グラフ全国コンクールへ出品します。

大垣市立東中学校 2年
安井 怜子さんの作品
令和5年度 岐阜県統計グラフコンクール
パソコン統計グラフの部 岐阜県知事賞
第71回統計グラフ全国コンクール
パソコン統計グラフの部 入選一席

●統計課職員による出前授業「データ活用講座」

学校や市町村、様々な団体の会合等で、統計課職員がデータ分析・活用のノウハウやデータから見た県の特徴などについて、グラフや図等を用いて解説を行います。

※出前授業を希望される場合は、県統計課までご連絡ください。



統計グラフコンクールの参加方法や過去の作品、データ活用講座の様子は、県ホームページをご覧ください。
県HP → 「統計情報」 → 「統計グラフコンクール」または「データ活用講座（出前授業）」
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13376.html>